＜教材・教具の写真＞

教材名	一緒に使うものはどれ？
学習内容	日常的な経験をもとに、身近な物と物の関係に気付く。 ①一緒に使うもの同士を結び付ける。 ②共通の性質（機能や場所）に従って分類する。
活用方法	①　・絵カードを３～５枚並べる。それとは別の絵カードを子どもに示して「これと一緒に使うものは、どれですか。」と尋ね、適切なものを取るように促す。 （「箸と茶碗」、「ノートと鉛筆」など） ・カードをバラバラに並べて自分でペアを作るようにする。 ②　・皿などの分類用の器を数個置き、その中に見本のカードを入れる。子どもに残りのカードを渡し、見本に従って分類するように促す。 ・使う場所を書いた皿の上に、その場所に合う品物を分類して置くように促す。（「お風呂」、「台所」など） ・「 勉強に使うもの と 料理に使うもの で分けてください。」など、言語で分類するように促す。 分類した後、「これらは、皆～するものですね。」「これらは、皆～にあるものですね。」と言葉掛けをして、再確認する。